

# 第2期真狩村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のお知らせ

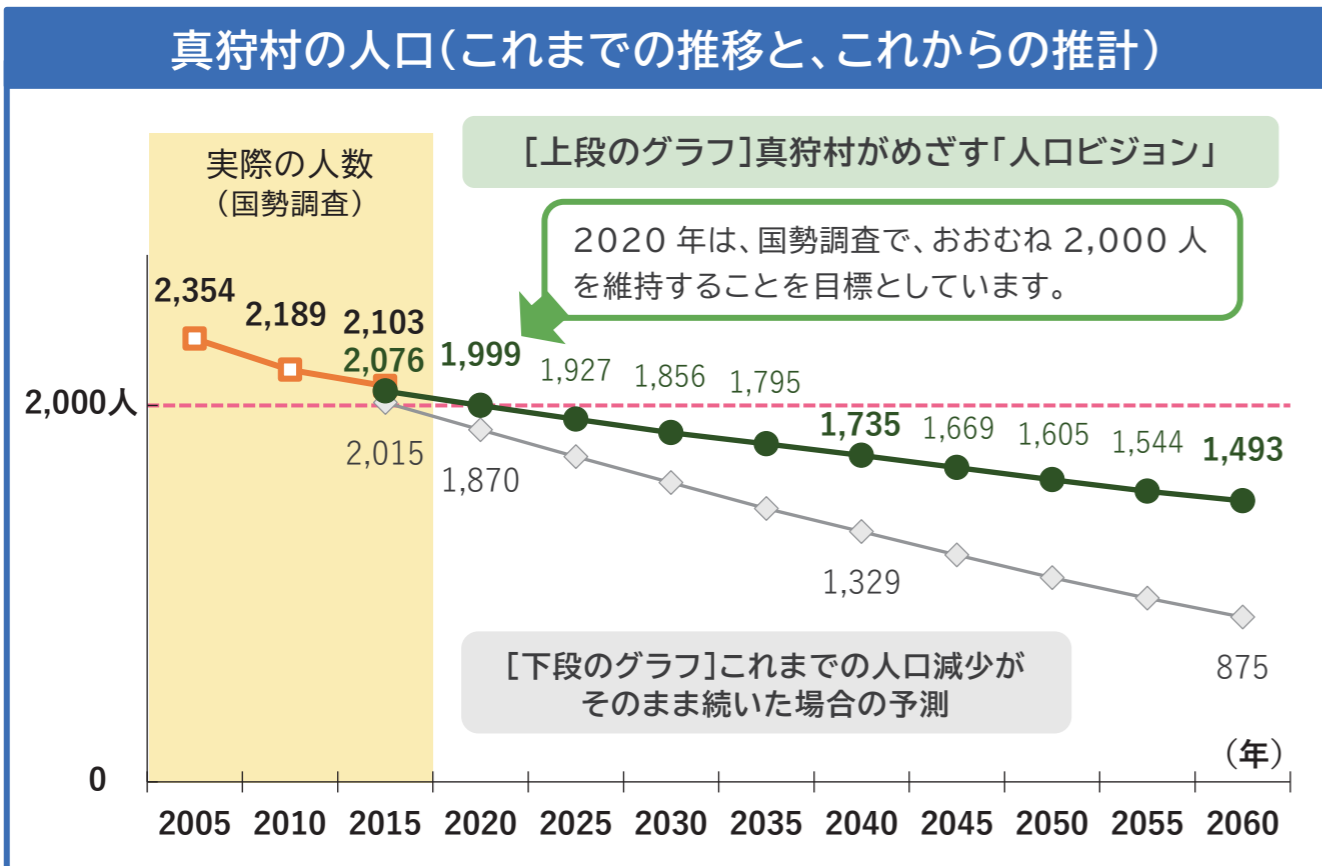


## 第1期のとりくみ結果(人口の動き)

真狩村では、「真狩村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し、人口減少を抑える取り組みを5年間、進めてきました。

その結果、2015年の国勢調査人口は2,103人となり、想定していた人数(2,076人)を上回りました。この5年間は、人口減少のスピードが抑えられている状況です。

2020年は、今年の秋に行われる国勢調査で「おおむね2,000人の規模を維持する」ことを目標としています。



今回策定した新たな総合戦略(第2期総合戦略)は、計画期間が2020年から2024年までの5年間です。人口の目標については、第1期に引き続き、計画期間の5年間、「おおむね2,000人を維持する」とします。



## 第2期総合戦略の概要

第1期で位置づけた「4つの基本目標」の方向性は引き続き、国が新たに位置づけた「情報通信技術の活用」や「多様な人材の活躍の推進」などをふまえて、取り組んでいきます。

## 4つの基本方針と目標数値

### 基本目標1

さまざまな分野で「働く場」をつくれます



定住、移住を推進するには、村内に働く場があることが重要です。

基幹産業である農業をはじめ、その他の産業についても活性化させ、いろいろな分野で働ける場を増やします。

- 農林業を除く従業者数 [現状]661人→[目標]590人
- 農家構成員数 [現状]343人→[目標]330人

### 基本目標2

真狩の魅力高め、交流・関係人口や移住者を増やします



本村には、羊蹄山をはじめ、そこからもたらされる美しい風景や水、農産物やさまざまな「食」に魅力を感じ、多くの人が集まります。

これらの人が関係人口、交流人口となるように努め、域内経済の活性化や移住者の増加に結びつけていきます。

- 社会増減 [現状]5年間で4人増加→[目標]5年間で30人増加

### 基本目標3

真狩で子育てする人を応援し、増やします



子育てや教育の場としてもっと魅力を感じてもらえる村となるために、子育てや教育等に関する環境づくりやサービスの充実引き続き努め、子育て世代やその子どもたちを増やします。

- 出生数 [現状]5年間で77人→[目標]5年間で69人

### 基本目標4

いつまでも住みよい村をめざし、不安や不便さによる人口流出を抑制します



本村に住み続けたいと思いつつも、日常生活の不安や不便さを理由に転出する人もいます。

日常生活で感じる不安の解消や利便性の向上に努め、真狩に住み続けたい人が住み続けられるようにし、人口流出を抑制します。

- 転出入の差 [現状]5年間で4人→[目標]5年間で▲50人以下

## 基本目標1 さまざまな分野で「働く場」をつくります



### (1) 農業における働く場の拡大

#### ① 農業後継者の就農、パートナーづくりの支援

- ・ 農業後継者が農業を継承するうえで必要な支援を行い、農家数（経営体数）の維持に努めます。
- ・ 農業後継者を中心にパートナーを得ることを応援し、さらなる農業継承を促進します。

#### ② 農業労働力の維持、省力化

- ・ 農家が単独で日雇い労働者を探すのが困難になりつつあるなか、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランを活用するなど農家へ労働者を仲介し、農業労働力の維持に努めます。
- ・ 新たな技術をいかした「スマート農業」の導入、普及を促進し、農業労働力の省力化に努めます。

### (2) 農業以外の産業における働く場の拡大、起業の支援

#### ① 真狩村商工会と連携した産業支援体制の強化

- ・ 村内の事業所や商店などへの支援体制を強化し、農業以外の産業における就業者の維持に努めます。

#### ② 創業支援の充実

- ・ 創業に関するワンストップ相談窓口を商工会に開設し、本村で新たに開業を志す人々を支援します。
- ・ 創業セミナーを年数回開催し、新規創業をめざす村民の支援充実に努めます。

### (3) 農業を軸とした産業振興

#### ① 農畜産物を活かした商品開発、起業の推進

- ・ 農畜産物を活かした加工品づくりの支援や企業の誘致などに努めます。
- ・ 道の駅など直売所での販売や観光客を対象とした農業体験などを支援します。
- ・ 真狩高校での農畜産物を活用したお菓子のメニュー開発、販売体験などを支援します。



#### ② 地場産品の販路拡大の支援

- ・ 「真狩産」として村外で流通、販売されるよう、真狩ブランドとしての流通・販売を促進します。

## 基本目標2 真狩の魅力高め、交流・関係人口や移住者を増やします



### (1) 地域資源を活用した観光の振興

#### ① 地域資源を活用した観光ポイントの充実、観光地としてのイメージの向上

- ・ 羊蹄山等の地域資源をいかした観光地づくりや利便性などの機能向上に努めます。
- ・ 観光地としてのイメージづくりや情報発信、観光客が村内で観光情報を受信しやすい環境づくりや、村の情報を発信したくなる魅力づくりに努めます。

#### ② 滞在型観光を促す環境の整備

- ・ 本村にある地域資源や人材等を有効に活用し、冬季の観光も含め魅力的な観光メニューを増やします。

### (2) 移住・定住を促す住宅環境の整備

#### ① 住宅に関する情報提供の充実

- ・ 移住・定住の希望者が土地や住宅に関する情報を得やすいように、情報提供の充実に努めます。
- ・ 本村への移住・定住を希望する人たちが、知りたいこと、困っていることに迅速かつ柔軟に対応できる窓口であるよう努めます。

#### ② 自ら住宅を整備する移住・定住者への支援

- ・ 本村への移住・定住を希望する人たちが住宅を建築することができるよう、村の分譲地を販売します。
- ・ 移住・定住者の負担を軽減するため、村の分譲地に住宅を新築した場合に一部助成を行います。

#### ③ 移住・定住が可能な住宅の増加促進

- ・ 民間事業者が行う集合住宅建設へ一部助成を行い、村内に住宅が増えることを促進します。
- ・ 空き家への居住を希望する人たちに空き家を提供する機会が増えるよう、住み替えを促進します。



## 基本目標3 真狩で子育てをする人を応援し、増やします



### (1) 子育て世代の負担の軽減

#### ① 子どもの健康を守る費用の負担軽減

- ・ 子どもの医療費に関する負担軽減を図るため、中学生までの医療費無料を継続します。
- ・ 他と比べて割高と感じられている高校生から64歳までのインフルエンザ予防接種費用を減免します。

#### ② 新婚世帯、子育て世帯の負担の軽減

- ・ 新婚世帯の生活支援や子育て世帯が抱える精神的、経済的な負担などを軽減できるよう、ニーズを把握しながら支援します。



### (2) 子育てや教育に関する環境の充実

#### ① 子どもが安全に遊べる環境の充実

- ・ 子どもが安全に遊べる環境を求める声にこたえるため村内の遊び場の充実や利便性の向上に努めます。
- ・ 入所している子どもたちやその親たちが利用しやすい保育所としていくため、幼児向け屋内遊具など保育所の設備の更新・充実に努めます。

#### ② 少人数や立地によって生ずる教育・スポーツ格差の解消

- ・ 少人数であったり、都市部から離れていることで限られがちである教育環境やスポーツ環境が、現状より改善・拡大するよう、各種取組を通じて、小中学生の学力・体力増進を図ります。

## 基本目標4 いつまでも住みよい村をめざし、不安や不便さによる人口流出を抑制します



### (1) 日常生活の不便さを解消する環境の充実

#### ① 日常生活での困りごとへの対応の充実

- ・ 困った時にまず相談できる場として、役場の窓口での対応をより一層向上させるとともに、広報紙やホームページ、防災無線などを、より分かりやすく村民が知りたい内容となるようにします。
- ・ 村民が年を重ねても村内での生活を続けることができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供、相談体制の構築、医療・介護関係者の情報の共有などを推進します。

#### ② 災害など緊急時の不安や不便の軽減

- ・ 日ごろからの災害の備えの大切さや災害時の避難に関する情報を周知するなど、村民の「自助」「共助」の力を高めます。
- ・ 災害が発生しても、だれもが無事に避難し、避難生活を送ることができるよう、災害時における体制や環境整備など「公助」の力を高めます。

「第2期真狩村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の全体版は、村のホームページに掲載しています。

